

12/27
(水)

感謝の気持ちを込めた門松を寄贈

公益社団法人松浦市シルバー人材センター



同団体が市民の皆さんへ感謝の気持ちを表したいと市役所北側の入口に一対の門松を寄贈しました。

高さ 1.7m、人が笑っているように切られた竹や、松、南天、葉ばたんなどで美しく飾られた門松はのべ約 30 人の会員らが協力し、素材集めから装飾、設置まで行いました。

村田政司理事長は「市民の皆さんへの感謝と新年が皆さんの飛躍の年になるようにと思いを込めてつくりました」と挨拶し、市長へ寄贈札を手渡しました。

12/26
(火)

まつうらのお茶で風邪予防

J.A ながさき西海茶業部会 松浦地区部会（井手眞悟部会長）



たのしかこども園でうがい用の緑茶の贈呈式が行われました。

同部会は、毎年市内の小中学校や保育園などに風邪やインフルエンザ予防のためのうがい茶を贈呈しています。

贈呈式では、部会長が「これからも元気にこども園に通えるようにうがい茶を使ってください」と園児に緑茶を手渡し、つき組 9 人が実際にうがいを行いました。

園児は「毎日うがいします」と元気に話しました。

12/27
(水)

集まった「縁」。託された思いを届ける

松浦こいから隊（福田和歌子隊長）



同隊がウクライナ人道危機救援金を市に贈呈しました。

11月23日（木祝）に同隊が主催した「第13回松浦 YOSAKOI 祭り～en～」には九州各地から 14 チームが参加。参加費の一部を今回の救援金として贈りました。

福田隊長は「踊り子たちの思いがこもったものです。受け取ってください」と友田市長へ救援金を手渡しました。

救援金は市を通じて日本赤十字社へ届けられます。

12/27
(水)

38 年ぶりの日本一を報告

阪神タイガース 平田勝男ヘッドコーチ



プロ野球で 38 年ぶりに日本一になった阪神タイガースの平田勝男ヘッドコーチが日本一の報告に市役所を訪問しました。

今福町出身の平田さんは昨年から 1 軍ヘッドコーチとしてチームを支え、1985 年に選手として達成した以来となる、阪神 2 度目の日本一に貢献されました。

平田さんは「野球に限らずいろんなスポーツを通して活気のあるまちになってくれればと思っている。私もなにか恩返しえければ」とふるさとへの思いを語りました。